

評価シート 様式

取組名	高度複合集積都市実現及びインキュベータ構築による商業活性化・都市型知財産育成のための営み支援・人材育成		
実施団体名	高崎元気再生推進協議会	対象地域	高崎市中心市街地活性化基本計画(案)における中心市街地
(代表団体名)		推薦団体名	高崎市

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	高度複合集積都市実現及びインキュベータ構築による商業活性化・都市型知財産育成のための営み支援・人材育成		
実施団体名	高崎元気再生推進協議会	対象地域	高崎市中心市街地活性化基本計画(案)における中心市街地
(代表団体名)		推薦団体名	高崎市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	<p>本取組は、地権者・住民の参加によるワークショップの活動を支援し、計画的な市街地更新に向けた合意形成を促すこと等を通じて、地域住民が主体となった中心市街地の再活性化を促す点で先導性・主体性を有する取組である。地方の元気再生事業として引き続き支援を行うことにより、継続的な取組が期待できる。</p> <p>次年度以降については、ハード・ソフトを含めた具体的なまちづくりの展開に取組内容を反映させていく観点から、地元関係者の主体的な参画を促し、これら関係者と連携する活動に一層重点を置いて取り組むべきである。</p> <p>具体的には、取組①の本格展開に向けた活動実践支援については、地元関係者の主体的な活動を促すものとなるよう留意するとともに、他事業により実施予定の人材育成(取組②)との役割分担と連携を図りつつ、本年度の取組成果を活かし、効率的に実施すること。なお、平成22年度以降の継続的な展開に向けての体制整備を視野に入れて取り組むべきである。</p>